

第12回 人と自然：環境思想セミナー

近き花、遠き花

「たてはな」と「なげいれ」に見る自然との関わり



2008年7月15日(火) 15:00 - 17:00
地球研・講演室

講師：川瀬敏郎氏

申込不要
聴講無料

Photo: 花-蓮一色 器-古銅松皮菱水盤(江戸時代)
撮影-畠山 崇

主催: 総合地球環境学研究所(地球研) プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」

第12回 人と自然：環境思想セミナー

近き花、遠き花

「たてはな」と「なげいれ」に見る自然との関わり

近き、遠きというのは心のありようの問題であって、とかく見誤りやすいものである。客観的な距離からすれば遠く離れているとしても、だれよりも親身になって心配してくれる友人ほど近いものはないだろうし、すぐ足もとにあるとも気にとめられることのない路傍の花はどこまでも遠い。自分自身だってそうだ。これほど近くにあるのに、自分が何を感じているのか、何を求めているのか、それを見落とし見逃す者にとって自己とはもともと遠い存在である。

環境問題についても同じことが問われるべきではないだろうか。ロハス・ブームに象徴されるように、自然との調和を図ったライフスタイルの追及がひろく共感を集めている。「自然との調和を図る」といっても、現代社会の中で暮らす私たちにはまずもって自然との接点すらないのが実情だ。その反動だろうか、ロハス的な議論の多くは自然に対する優しさばかりを強調し、いたずらに失われた自然との近さの回復を試みる。だが、よりリアルな形で自然にコミットするためには、そうした一方的な関わり方だけでは十分とはいえないだろう。自然から突き放されるのを受け入れつつ、場合によってはこちらから刃(やいば)を向けて自然を突き放すことすらあるような、そんな態度が求められるのではないだろうか。だとすれば何よりもまず追求されるべきは、表面的な自然への優しさつまり近さの回復ではなく、むしろ自然の遠さの認識、さらにすすんで自然との距離の取り方であるといえるだろう。

川瀬敏郎が生ける花はまさにそうした意味で絶妙な距離感をたたえている。花を「生ける」といいながら、その行為が実はそもそも残酷なものだ。生けられる前に花はまず切られる。神仏荘厳に根ざした「たてはな」にせよ、それを解体し心のおもむくまま個人の創意の発露を実現したとされる「なげいれ」にせよ、日本の花には、生ける、つまり花を花としていかす行為にともなう、自然に対して鉄を入れるという残酷さへの自覚が通底しており、川瀬はその本質をふまえた現代の花の姿を追求してきた。

ただ優しい、ただ愛でる、そういうものとはちがう、一方で冷たく厳しく、諦めすら感じさせる距離感につらぬかれた川瀬敏郎の花はいつも清々しく美しい——。花と向き合うその態度を通して、私たちが忍ばねばならない遠さ、本当に回復すべき近さを探る。

(環境思想セミナー担当: 鞍田 崇)



花—山茶、芙蓉の実に雪

器—金銅華瓶(平安時代)、春日卓(室町時代)

撮影: 畠山 崇



【講師】 川瀬敏郎 KAWASE Toshio

花人。1948年京都生まれ。幼少より池坊の花を学ぶ。日本大学芸術学部卒業後、パリ大学へ留学。演劇、映画を研究する傍ら、ヨーロッパ各地を巡る。74年に帰国後、日本の原初のいけばなである「たてはな」と、佐び茶の隆盛にともない確立された自由な意匠としての「なげいれ」を根本にすえ、花による「日本の肖像」を探る独自の創作活動を続ける。現在、「芸術新潮」に自身の原点を問う「たてはな神話」を連載中。著書に『花会記』(淡交社)、『今様花伝書』(新潮社)、『川瀬敏郎 花に習う』(平凡社)など多数。

日時：2008年7月15日 (火) 15:00-17:00
会場：総合地球環境学研究所 (地球研) 講演室
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山475-4

人と自然：環境思想セミナー
～今後の予定～

第13回／8月21日(木)
「千年の食卓：
源氏物語を生んだ食材と料理」(仮題)
堀場弘之氏(料理人・京料理「六盛」社長)

第14回／10月1日(水)
「われわれは何を失ったのか：
焼畑と日本の基層文化」(仮題)
姫田忠義氏(民族文化映像研究所所長)

第15回／11月 *日程調整中
「気配の痕跡：
展示デザインと空間の記憶」(仮題)
木下史青氏(東京国立博物館デザイン企画室長)



申込不要・聴講無料

主催：大学共同利用機関法人 総合地球環境学研究所
文明環境史領域 プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」
(リーダー：佐藤洋一郎・地球研教授)
<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project>

【アクセス】

- JR・近鉄・阪急沿線より
京都市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館」下車。
国際会館駅バスターミナル2番乗場から京都バス40系統
(京都産業大学前ゆき)にて、「地球研前」下車スグ。
- 京阪沿線より
出町柳駅で叡山電鉄鞍馬線に乗換え、「京都精華大前」
もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。
- 車・タクシーでお越しの方は
国際会館より府道40号線で二軒茶屋方面へ。

お問い合わせ 環境思想セミナー担当 鞍田崇 (地球研研究員)
075-707-2382 fax.075-707-2508 kurata@chikyu.ac.jp